

発想法の基礎 (2日間)

No. 141

目的

「発想法」として有名なKJ法の正しい手順を学ぶ
川喜田二郎の野外科学の思想を理解する

特長

普段は体験しない発想技術は、刺激的
今話題の「アブダクション」(仮説法)を体験

対象

一般社員・職員～あらゆる職種・階層
(最適人数 2名 ~ 最大 8名程度)



Table of Contents [DAY1] (Total 6H ~ 7.5H)

イントロダクション
研修体系における本セミナーの位置づけと役割
セミナーの目的、内容、進め方およびゴール

1 KJ法概論

KJ法(発想法)とは何か？
取材の基礎技術
ラベルづくりの考え方
データをまとめるとは？

2 KJ法の正しいステップ (グループ編成)

グループ編成
第一段階 ラベル集め

3 KJ法の正しいステップ (グループ編成)

KJ法の正しいステップ
第一段階 表札づくり

4 KJ法の正しいステップ (グループ編成)

KJ法の正しいステップ
第一段階 表札づくり (続き)

振り返りとまとめ
本日の反省点および達成度の確認
質問

Table of Contents [DAY2] (Total 6H ~ 7.5H)

イントロダクション
前日の振り返り
本日のセミナーの目的、内容、進め方およびゴール

1 KJ法の正しいステップ (グループ編成)

KJ法の正しいステップ
第二段階以降 ラベル集め 表札づくり

2 KJ法の正しいステップ (図解化)

全体の構造化

3 KJ法の正しいステップ (叙述化)

全体の論理化

4 発表

発表と意見交換
感想交流

振り返りとまとめ
反省点および達成度の確認
気づきとアンケート